

会 議 記 録				
会 議 の 名 称		広報広聴会議		会議場所 第3委員会室
				担当職員 阿久根由美子
日 時	平成26年9月1日(月曜日)		開 議	午後 3 時 00 分
			閉 議	午後 3 時 58 分
出席委員		◎菱田 ○山本(広報部会長) ○眞継(広聴部会長) 苗村 福井 中村 小島 中澤 堤		
事務局 出席者		藤村局長、山内次長、阿久根副課長、坂田主任		
傍聴	可	市民 名	報道関係者 名	議員 名 ()

会 議 の 概 要

15:00

〔菱田委員長開議〕

1 議会だよりの編集について

<山本副委員長>

次号の議会だよりで臨時会の内容を含める。特集ページは決算で特別委員会に作成願う。市民の声は会派で紹介された傍聴者に原稿依頼をしてきた。前号で会派は一巡した。以前井上議員の希望で紹介してもらったこともあるが、今後は協議のうえ決めることになっていた。意見を。

<福井委員>

広報部会の意見はどうか。

<山本副委員長>

まだ聞いていない。

<福井委員>

次号が今期最後ではないので、会派順で再度回せばよい。

<山本副委員長>

会派に属さない議員は飛ばすのか。

<福井委員>

飛ばすのではなく、2人なのでそれでよい。

<中澤委員>

代表質問の会派が紹介することになっていた。会派順でよい。

<山本副委員長>

会派順で回すことにする。内容は部会に一任願う。〈全員 了〉

広聴部会のページは部会で検討願う。書くことがなければ広報部会に連絡願う。

<眞継副委員長>

1 ページ埋める掲載内容がない。11 月に報告会を開催するなら告知するにしても、その内容のみである。政務活動費の収支報告の内容もよいと思う。

<山本副委員長>

空きスペースは広報部会で考える。

<中澤委員>

臨時会の内容が入るスペースはあるのか。

<山本副委員長>

臨時会は議案が少ないので大丈夫だと思う。

2 議会基本条例運用基準について

〔事務局副課長 説明〕

<菱田委員長>

改正案は現行の内容で整理している。意見を。

<福井委員>

フロー図も基準になるのか。

<菱田委員長>

そうなる。

<福井委員>

フロー図の広報広聴会議の表現は改正案と整合させるべき。

<菱田委員長>

整合を図る。

<苗村委員>

フロー図では4議会報告等(3)の部分の説明はしていないのか。

<菱田委員長>

フロー図のとおりわがまちトークと称し実施する。

<事務局副課長>

(3)は、特定の団体等との意見交換ではなく、広く市民に参加を呼び掛けるものと理解願う。

<苗村委員>

産業建設常任委員会が昨年実施された意見交換はわがまちトークではないということになるかと思う。線引きがあいまいだと思う。

<眞継副委員長>

常任委員会が調査のため特定団体と意見交換を行う場合は広く市民参加を求めないので「わがまちトーク」の名称は使わないと理解している。委員会発意で市民に参加を呼びかけ実施する場合は「わがまちトーク」の名称を使う。運用上分けるものである。

<苗村委員>

分ける必要があるのかと思う。

<福井委員>

産業建設常任委員会では2回行っており、団体に出向く場合、団体に来てもらう場合があった。いずれも委員会でしたもので、わがまちトークとは別である。

常任委員会が参考人ではなく、広く市民の意見を聴くため広報広聴会議を通じて進める場合だと理解している。

<苗村委員>

委員会が広く市民の意見を聴くために開催するものは「わがまちトーク」であると理解した。

<菱田委員長>

広く市民の意見を聴くために開催するものは「わがまちトーク」で統一しようとするものである。

<中澤委員>

わがまちトークというエリアが狭い感じがする。亀岡市のまちづくりトークなど
広く捉まえられような名称がよいのではないか。

<菱田委員長>

「わがまち」を自分の近所、町ではなく、亀岡市のまちづくりと捉まえればよいと
思う。

<中澤委員>

わがまちトークを進める思いと現実には差があるように思う。

<菱田委員長>

名称はわがまちトークとし、エリアを限定するものではないと理解願う。議会報告
会等については改正案のとおりとする。広報広聴の充実についての改正案はどうか。

<中村委員>

「議会運営委員会の承認を得て実施する」について、今回の議会報告会は議会運営
委員会で承認を得たのに取り組みができないので、議会運営委員会承認の必要性に
ついて違和感がある。

<菱田委員長>

「4議会報告会等」にもその文言を入れるか正副委員長で協議していた。意見を。

<事務局副課長>

(1)では議会運営委員会の承認を得ることをうたっていない。

<眞継副委員長>

「要綱」とはどのようなものか。

<事務局副課長>

今までの要綱は班編成、日時、内容等を定めていた。

<眞継副委員長>

要綱が詳細な内容なので案のままでよい。

<福井委員>

自治会単位の開催は確立していた。そのやり方を変える場合は必要であるが、要綱
等を議会運営委員会に諮らなければならないなら、広報広聴会議が存在する意味が
ない。

<中澤委員>

新たな取り組みは、「1 2 広報広聴の充実」で定め議会運営委員会で諮ることにな
るので整理できる。

<菱田委員長>

「議会運営委員会に諮る」という文言は「4議会報告会等」には入れない。案を議
会運営委員会に報告する。

3 その他

<眞継副委員長>

わがまちトークの開催はこの後の広聴部会で考えたいと思うが、委員の意見を聞い
ておきたい。

<中澤委員>

前の案はどうするか。

<菱田委員長>

今後広聴部会で、実施ややり方を検討する。

<苗村委員>

議会報告会のまとめをして、市民から意見を聴けばよい。議会だよりに対する意見

も聴けばよい。

<山本委員>

やり方を変え、意見交換できればよいと思う。

<中村委員>

広報広聴会議主催でやればよい。

<中澤委員>

議会活動の状況等を報告すればよい。市民ホールでやればよい。

<山本副委員長>

16期につなぐことを目標にしてきた。広報広聴会議ですれば次の取り組みにつながる。

<眞継副委員長>

意見を参考にこの後広聴部会で検討する。

〔菱田委員長 閉議〕

15：58